

令和6年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	塩竈市役所			代表者名	佐藤 光樹
担当者部署(属性)	情シス担当	担当者部署名	総務部政策課	連絡先電話番号	022-355-5284
担当者役職	主事	担当者氏名	鈴木英斗	連絡先E-mail	
住所	985-8501 宮城県塩竈市旭町1番1号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

1-3. 支援を求める内容

支援方法	職員向け啓発・研修（単独）	事業名（予定）	生成AI活用研修
概要	業務におけるChatGPTなど生成AI活用に向けて、生成AIの基礎概要や業務における生成AI活用の進め方や留意点のポイントなど、業務における生成AI活用の基礎知識・基礎スキルの習得を目的とした研修を実施いただきたい。		
支援を求める分野	生成AI活用		

2. 地域情報化アドバイザー派遣実績

2-1. 対応日・時間	期日・支援内容の変更あり	受付番号	変更後の派遣日	変更後に実施した支援内容	実地/オンライン
	無				
	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和6年7月26日	講演(実地)	14時30分	16時00分	
				活動時間（分）	90
2-2. 派遣場所	会場名	塩竈市役所北側委員会室		最寄駅	西塩釜駅
	所在地	宮城県塩竈市旭町1-1		最寄駅からの交通手段	徒歩

3. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	佐藤 泰格
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	生成AIに関する基礎的な知識を学ばせていただいただけでなく、自治体職員としての目線で、生成AIの活用が効果的だと考えられる業務等を具体的に説明していただいた点がとてもよかった。また、ハンズオン型で実際に職員が手を動かしながら学ぶことができ、手が止まった際には適宜アドバイスを送っていただいていたことや、本市が抱える課題を解決するための生成AI活用方法に関する質問など、自治体として今後どのような活用をしていくのが望ましいのかを訪ねた質問等に、先進自治体として具体的に回答いただいた点等もよかった。
アドバイザーへの要望事項	特になし

4. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

4-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	合計人数	21人
	属性	自治体職員	住民
	人数	21	
		企業・団体	その他(学生など)

4-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果

事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	本市ではすでに生成AIを導入しており、内部研修の実施などとおして職員に業務効率化や住民サービス向上に活用してもらえるよう推進しているが、講師として指導可能なほど詳しい職員がいないことから、有効に活用されていない点が課題になっていた。
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	生成AIを職員が効果的に活用することにより、定型的な文書作成などの業務からの解放により業務が効率化され、住民に対するサービス提供がより迅速に可能になるほか、専門的な業務に従事する時間が増加し、住民サービスの質を向上させることを目指している。また、生成AIを活用することで住民に対し、職員個人のスキルによらず、一定レベル以上の文書による、信頼性の高い情報を提供可能にすることを目指している。

アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	生成AIに関する基礎講習 ハンズオンによる文書校正やキャッチフレーズ作成の支援 自治体における具体的な生成AI活用事例紹介
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	職員の生成AIに関する理解度が向上したほか、具体的な活用場面をイメージすることができたことで、今後有効に活用されることが期待される。
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。 ⑤組織業務改善ができた どのような場面でもどのように生成AIを活用することが効果的なのかが職員に理解されていなかったが、職員独自で文章の校正やキャッチフレーズの作成、アイデア出しなどを行うことができるようになった。
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 満足度や、改善したほうが良い点などに関するアンケートを行った。総合的な満足度については、5段階評価で受講者全員から満足以上の回答となった。また、自由回答欄では、90分という時間で生成AIの概要説明及びハンズオンでの実践を実施したため、時間が短かく、もう少し時間をかけて学びたかったとの声も多かった。
4-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい ④予算以外で、今後取組む事項がある 今回いただいた資料等を活用しながら、今後も内部で生成AIの利活用促進を図っていく。また、引き続き、同制度を活用してアドバイザーの派遣を依頼したいと考えている。
4-4. 事業の最終的な目指す姿	生成AIを活用する考え方が全庁的に広まり、生成AIを各種サービスや業務に積極的かつ有効的に活用することができるようになることで、住民に対してより効率的で満足度の高いサービス提供を可能とする。また、生成AIを活用し、職員個人のスキルによらず、一定レベル以上の文書による、信頼性の高い情報の住民への提供を可能とする

具体的にご記入下さい。支援を受けた事業が成
因(自治体側に内在して

具体的にご記入下さい。支援を受けた事業が成
因(自治体側に内在してい

5. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可		https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子
今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

